

森林と人とのなげたい 通信 森倶楽部 21

2023年9月 第250号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。
長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。
里山はたくさんの生きもののよりどころです。
たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、
未来に引き継いでいくことが願いです！

乙女高原への研修

昨年7月、乙女高原ファンクラブ代表世話人の植原彰さんが長峰山に来られ、一緒に活動地を歩き、シカの食害の問題や私たちが気づけなかった雨水の流れの影響による遊歩道の整備方法、自然を見る観察力など、いろんな勉強をさせていただいた。今度は是非植原さんの活動フィールドである乙女高原に行きたいとの思いが叶った見学研修であった。



管理している乙女高原グリーンロッジ(休止中)

8月11日金曜日晴れ。山の日で休日なので道路の混雑を予測して、朝7時に安曇野市役所を出発したコミューターバスは会員10名を乗せて予定通り10時30分に乙女高原へ到着した。高原は涼しく、下界の暑さを忘れさせてくれた。

乙女高原は、山梨市牧丘町の北西部にある、標高1700mの亜高山性高茎草原（亜高山帯



で1mを越えるような丈の高い植物の多い草原植生)で、1951年1月20日に開設され、2000年3月に閉鎖された山梨県営の乙女高原スキー場跡地である。放置すると森林になってしまう跡地を乙女高原ファンクラブの皆さんが中心となって、遊歩道づくりや草刈りなど

の活動を行い、草原の保全に努めている場所だ。

駐車場で植原さんが出迎えてくださり、早速ヤエガワカンバの下で乙女高原の説明をされ、午前、午後に分けて森のコース、ツツジのコース、草原のコースと名付けられた遊歩道を案内して下さった。少し歩くだけでシカ柵の外と内の違いに気づき、内側の花の種類、豊富さに目を奪われた。草原上部のシカ柵を出ると、きれいに草刈りがされているように食害が見られ、シカの嫌いな花であるらしいマルバダケブキだけが残っていた。



柵の外、奥：マルバダケブキ群生、
前：食害のミヤコザサ



柵の内、遊歩道沿いに咲く花

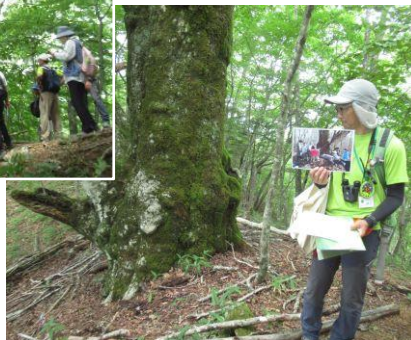
また、草原内には、草地より低い遊歩道が雨により川になり土壌浸食が進み、閉鎖された遊歩道があり、2006年と2023年5月の写真を見比べながら経過を伺った。閉鎖後最初の年に刈り草を敷き入れ、植生回復を待っているというお話であった。旧遊歩道はほぼ回復しているように感じたが、表土が流出すると植生回復には長い時間がかかることが理解できた。その近くの新しい遊歩道には枯れ草が敷かれていた。これは11月の草刈りの時、土壌浸食が進まないように、予防措置として刈り草を遊歩道の進路と直角の向きになるように敷いているとのことであった。この刈り草を敷くことは長峰山の活動でも使えそうだなと思った。

ほかにも、乙女高原が県有林である歴史、ブナ林に樹齢300年の老木が「ブナじいさん」と呼ばれ大切に保護されていること、シラカバ、ダケカンバ、ミズナラの幼木の観察など



ブナじいさん
根元は集めた落葉で保護されている

の研修があった。なかでも天然記念物の「谷地坊主^{やちぼうず}」と名付けられたタニガワスゲの群落が乙女高原からの水を集めた湿地帯にあり、生育のしかたとその冬の姿に興味をそそられた。



夏の谷地坊主

最後に、乙女高原ファンクラブへのお誘いがあり、パンフレットあり、年会費なし、参加義務もなしと非常に敷居の低い勧誘の仕方です。森倶楽部21も取り入れてみたらと思った。ファンが増えれば自然に環境保全も行いやすくなるというのが印象に残った。

乙女高原はマルハナバチを指標に、長峰山はチョウを指標にしていることで、やはり生き物や森の様子を注意深く見ていけばこれから何を行うべきかが分かるのだなと勉強になった。

シカ柵については、最初は3年かけて狭い範囲で成果を実証して、山梨市に設置を要望し、草原総面積約6ha



シカ柵

を囲う約1km、高さ2.3mのシカ柵が設置された。設置費用は思ったよりも高額であった。長峰山の立地、使われ方等々の条件を考慮しながらできる事を探し出し、シカによる食害に対処し、乙女高原のような草原に復活させていきたいと思った。

短い時間であったが沢山の学びがあり、楽しみがあった。もっと観たかったが、また来ようと午後3時過ぎに帰途についた。



谷地坊主の説明看板



マルハナバチとオミナエシ

活 動 か ら

《チョウの道周辺草刈り》

日 時：8月1日（火）9:30～14:00 天気：晴れ 【絆・蝶の森活動】

参加者：会員4名

活動場所：蝶の森

活動内容：遊歩道の草刈り、林縁の整備(徒長した枝切り)

「本当に今日やるの？」と確認したくなるような強い日差しが朝から照りつけ、東屋にたどり着くまでに一汗。天からの警告と受け止め、こまめな水分補給といつもより多めの休憩を申し合わせる。



今年まだ手を入れていなかったチョウの道は下草がよく茂り横枝も伸びて狭くなり、これ以上放置できない状態。小道（草原周囲の

道）の林縁も太い枝が伸びて小道から林縁部が見えないところが多くなってきた。これらの整備を刈払機や高枝切りを使って大汗をかきながら行い、片づけた。

帰りがけ蝶の森に至る登山道脇に、何らかの理由で折れてしまった枝が他の枝に引っかかっている、風などで登山道に落ちてくると危険なので処理および片付けを全員で行い、この日の活動を終えた。



《植樹地周辺の草刈り》

日 時：8月22日（火）9:30～12:00 天気：晴れ 【絆・蝶の森活動】

参加者：会員5名

活動場所：堤平

活動内容：植樹地の整備、堤平の遊歩道および小屋周りの草刈り、チョウのルートセンサー

乙女高原見学の余韻さめやらぬ活動となったが、1700mの涼しさとは大違いの暑さ。水分補給と早めの休憩を申し合わせて作業に入った。植樹地Aは手鋸でシンジュを、植樹地Bも手鎌と手鋸でニセアカシアとキイチゴの除去を行った。植樹した木の成長により以前より繁茂が抑えられ作業が楽になってきた。併せて遊歩道および小屋周りの草刈りも行った。

堤平のススキは以前より小さくなっているように感じた



が、植樹地Bの下側のニセアカシアはかなり大きくなっているため後日対応することにした。



手鋸でのシンジュ切り

蝶の森は猛暑と花が少ないためかチョウの数は少なめだったが、草原を飛び回る数頭のウラナミシジミが目立った。反面、暑さに強いはずのジャノメチョウが調査対照区の日陰に集まっており、今年の異常さが伺えた。

《枯れアカマツ伐倒処理》

日 時：8月26日（土）9:30～12:00 天気：晴れ 【森林整備活動】

参加者：会員4名

活動場所：烏帽子峰周辺

活動内容：倒木処理

作業道の倒木処理を行う予定であったが、それよりも優先して堤平に下りる道の右手斜面に枯れアカマツのかかり木があり、参加者で検討した。結果、その他の枯れアカマツも含め安曇野市に依頼することにした。

次に烏帽子峰の倒木処理へ。東山頂部から馬車道に下る登山道への倒木は、枝払いをし、様子を見ながら処理を行った。サクラに沿うように倒れた枯れアカマツは、サクラにも受け口と追い口を入れチルホール（手動ワイヤーロープ巻き上げ機）で2本一緒に牽引し、どうにか処理をした。

登山者がいるので、伐倒などの際は、周囲に見張りを置き、注意して行った。



サクラにおんぶされたような枯アカマツ

《水田跡地シカよけネットを片付ける》

日 時：8月27日（日）9:30～12:00 天気：晴れ 【絆・蝶の森活動】

参加者：会員6名

活動場所：絆の森水田跡地

活動内容：春植物シカ防護ネット取り外し、水田跡地草刈り

昨年、試験的に設置した春植物のシカ防護ネットは、落ちてきたスギの枯れ枝と繁茂してきたオシダに杭を倒されたりネットを押しつぶされたりしていたので取り外し、回収した。その後、手分けして水田跡地上側全体の草刈りを実施した。周辺の樹木が張り出して暗くなってきたなどの環境の変化のせい、オシダがだいぶ繁茂していた。また、時々降る夕立でまとまった雨水が急激に沢に流れ込むためか、ところどころで斜面の一部が深く削られていた。これも春植物に影響があるかもしれない。

上の池もひょうたん池も、今年は全体の降水量が少ないため、ただのぬかるみになっていた。まとまった雨が降った後に池の整備を検討しなくてはならない。棲んでいたヤゴやカエルが心配である。



シカの食害 道路側のカクトラノオ(8/27 きより館)



残った花の蜜を吸うホウジャク

8月27日(日) 13:00~14:30 天気：晴れ
 コース：天平の森駐車場～蝶の森～駐車場
 参加者：会員5名

暑い暑いと言いながら木陰をぬって蝶の森までの往復の観察をしました。
 駐車場を出てすぐ、ニワトコの木からぶら下がっているものに目が留まりました。「観て、観て」と主張しているちょっと苦手なガの幼虫でした。キマダラエダシャクガと判明し、ペンでつついたら、さっとぶら下がっていた糸をたぐったのか木の枝に戻りました。あっという間でした。こんな芸を持っているのかと驚きました。

その後もよく目を凝らしてみると意外と開花植物が多く見つけられました。ですが、蝶の森の草原では、オミナエシ、ワレモコウ、ツリガネニンジンなどはかなり少なくなっているようでした。シカの影響も大きいのかもかもしれません。どうしても先日伺った乙女高原と比べてしまい、とても物足りなく思えてしまいました。昔はもっと多く賑やかだった気がします。9月に行う指標植物の調査の結果と過去のデータを比べ気のせいかが判明すると思います。

また、暑さのせい、チョウは少ない状況でした。



【今日のめだま】 《目の上の木の花に気が付きました》



頭の上のヌルデに花が咲いていました。引っ張って引き寄せてみると白い雌花と赤みがかかった小さな果実でした。雌雄異株で花の後の果実は10~11月に黄赤色に熟し、白い物質



(リンゴ酸カルシウム)を分泌し果実の表面に白い粉がふき、塩味があり、昔は「ぬるで塩」と呼んで塩の代用にしたようです。鳥たちがこの実を目当てにやってくるそうです。

今日観た花は雌株だけでしたが、これからは雄株を探して観てみたいなと思いました。それと、秋になったら果実に付く白い粉を舐めてみたいなとも思いました。でも、ヌルデはウルシ科の植物です。稀にかぶれることもあるそうですので要注意です。

【確認した開花植物】

草本 アカツメクサ、アズミノアザミ、アブラススキ、イヌタデ、オトギリソウ、オトコエシ、オミナエシ、カゼクサ、カタバミ、キンミズヒキ、クズ、ゲンノショウコ、コバギボウシ、シラヤマギク、シロツメクサ、ツリガネニンジン、ヌスビトハギ、ネコハギ、ノコンギク、ヒメジョオン、ヒヨドリバナ、ヘクソカズラ、ボタンヅル、ヤナギタンポポ、ヤマニガナ、ユウガギク、ヨウシュヤマゴボウ、ワレモコウ
木本 アオツツラフジ、タラノキ、ヌルデ、マルバハギ

【確認した昆虫】

ウラナミシジミ、エゾスジグロシロチョウ、キアゲハ、キタキチョウ(オス)、ミヤマカラサアゲハ、ルリシジミ、キマダラエダシャク、アキアカネ、オニヤンマ、ミンミンゼミ

いろいろなものをみつけよう ミニ自然観察会
 次回は 9月24日(日)13時00分 天平の森駐車場 集合
 予約不要



カゼクサ



ツバメシジミ



アブラスキ

2023年9月・10月活動予定

| | 日 | 行 事 | 集 合 場 所 | 時 間 |
|---------|----------------|-------------------|------------|-------|
| 9月 | 10(日) | 森の小径歩道(長峰山遊歩道)草刈り | 長峰山山頂駐車場 | 9:00～ |
| | 12(火) | 絆・蝶の森活動 | 天平の森駐車場 | 9:30～ |
| | 19(火) | 絆・蝶の森活動 | 蝶の森駐車場 | 9:30～ |
| | 24(日) | 森の小径歩道(長峰山遊歩道)草刈り | パノラマパーク看板前 | 9:00～ |
| ミニ自然観察会 | | 天平の森駐車場 | 13:00～ | |
| 10月 | 3(火) | 絆・蝶の森活動 | 蝶の森駐車場 | 9:30～ |
| | 7(土) | 安曇野環境フェア | 堀金体育館 | 未定 |
| | 8(日) | | | 未定 |
| | 10(火) | 絆・蝶の森活動 | 天平の森駐車場 | 9:30～ |
| | 17(火) | 絆・蝶の森活動 | 蝶の森駐車場 | 9:30～ |
| | 22(日) | 山頂草原草刈り | 未定 | 未定 |
| ミニ自然観察会 | | 天平の森駐車場 | 13:00～ | |
| 29(日) | 森林の里親事業 コープながの | 天平の森駐車場 | 8:30～12:30 | |



会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、
随時受け付け中です。
お気軽にお問い合わせください。

◇会費 正会員 : 3,000円
賛助会員 : 4,000円

一緒によい汗ながしませんか？



- 発行
特定非営利活動法人
森倶楽部 21
- E-mail npomoriclub21@gmail.com
- URL <https://mori21.com/>
- <https://www.facebook.com/morikurabu21>